

安全データシート

作成：2015年6月30日

改定：2022年4月1日

整理番号 **POWERTORE PI-605**

1. 化学物質等および会社情報

1-1 製品

製品名 ①パワトレ PI-605
使用分野 ②塗料ミスト処理（廃水処理）
製品内容 ③塗料ミスト処理剤（凝集沈殿剤）

1-2 供給者情報

会社名 ①株式会社PI
住 所 ②愛知県豊田市陣中町 1-22-6
担当部門 ③薬品事業部 PIケミストリー
販売者 ④株式会社PI
電話番号 ⑤0565-77-0106
FAX 番号 ⑥0565-77-5075
緊急連絡先 ⑦0575-77-0106

2. 危険有害性の要約

2-1 GHS 分類 分類対象外

- ◆事故緊急時への対処 ①皮膚に付着した粉体は刺激性がある。
②目に対して刺激性がある。
③呼吸器官上部に炎症を起こす事がある。
※火災時は加圧式呼吸器（全面タイプ）を着用すること
※適切な消火剤は、ドライケミカル、二酸化炭素、泡、水
- ◆健康に対する有害性 ①急性毒性（経皮）：主被爆経路。皮膚付着の粉体は刺激性あり。
②急性毒性（眼） ： 目に対して刺激性がある。
③急性毒性（吸入：粉体）
 ダストが呼吸器官上部器官に炎症を起こす事がある。
④急性毒性（摂取、嚥下）
 胃腸器官にわずかな炎症を起こし、嫌悪感、嘔吐、腹部不快感。下痢を起こすことがある。
⑤影響を受ける器官 ： 慢性的影響がある可能性はない。
⑥悪化する症状 ： 知られていない。

3. 組成および成分情報

- ◆物質の特性 ◎混合物
- ◆化学・一般名称 ◎凝集沈殿剤
- ◆臭い ◎わずか
- ◆外観 ◎白色の粉体
- ◆有害成分 ◎なし
- ◆発がん性物質 ◎なし

成分	CAS	既存化学物質番号	配合
① 硫酸塩	① 14808-79-8		① 50~60%
② 炭酸塩	② なし		② 15~20%
③ 高純度シリカ	③ なし		③ 20~30%
④ 有機化合物	④ なし		④ 1~5%

- ◆国連番号 : なし
- ◆官報公示整理番号 : 既存化学物質 1-193、1-25 などの混合物

4. 応急措置

- ◆眼に入った場合 ◎直ちに多量の清浄な流水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用している場合は極力外すこと。まぶたを指で上げ、同時に眼球をあらゆる方向に動かさせる。痛みのため眼を擦らせないこと。そしてなるべく速やかに眼科医の手当てを受けさせること。
- ◆皮膚に付着した場合 ◎石鹼水で完全に洗い流す。汚れた服は直ぐに脱ぐ。汚染された服は洗濯してから使用すること。炎症が続く場合は直ちに医師の手当てを受ける。
- ◆吸入した場合 ◎うがいをさせる。鼻やのど、肺に炎症がある場合には汚染された場所から被災者を移動させ、必要な応急措置をとる。
直ちに医師の手当てを受ける。
- ◆飲み込んだ場合 ◎水で口内を良く洗浄する。水や牛乳を飲ませて吐き出させる。
直ちに医師の手当てを受ける。
- ◆医師に対する連絡 ◎特別な指示はない。

5. 火災時の措置

- ◆消防作業時 ◎消火作業者は加圧呼吸保護具（全面タイプ）を着用する。
- ◆消化剤 ◎ドライケミカル、二酸化炭素、泡消化剤あるいは水を使用する。
- ◆熱分解生成物 ◎当品は不燃性であるが、加熱された場合有毒ガス（SOX）等を発生する可能性がある。
- ◆引火点 ◎なし

6. 漏出時の措置

- ◆防止処理と漏出の抑制 ◎換気を行う。指定された保護具を着用すること。風下では作業をしない。飛散しないように掻き集めて廃棄用の空容器回収する。その後多量の水で洗い流す。漏れた箇所は滑りやすいことがある。砂や砂利を撒くこと。
- ◆廃棄の手順 ◎「廃棄物の処理及び清掃に関する法」等に従って焼却処理を行うか、または許可を受けた廃棄物処理業者に委託して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- ◆取扱い ◎一般的な化学品と同じ取り扱い、保護具を着用すること。取り扱い後、手洗い、洗顔、うがいなどを充分に行う。湿気を帯びた粉末は時に滑りやすいことがあるので、靴底の付着などにと気をつける。
- ◆貯蔵・保管 ◎屋根付きの倉庫に保管する。室内作業の場合は局所換気装置を設置する。高温多湿状態での保管は避ける。アルミニウム、亜鉛、錫の容器での保管を避ける。製品を使用しない場合には容器を密栓すること。他物質が混入しないように保管すること。凍結させないこと。

8. 暴露防止措置及び保護措置

本製品の成分は、管理濃度、許容濃度は設定されていない。

- ◆設備対策 ◎十分な換気設備。
- ◆安全保護具呼吸保護具 ◎必要に応じて呼吸器保護具を着用すること。空気清浄用呼吸器が必要な場合にはダスト・ミスト用フィルター付の呼吸器を使用する。
- ◆皮膚の保護具 ◎ネオプレンかあるいはそれと同等以上の長手袋にて取り扱う。使用した長手袋は、作業後十分に洗う。必要に応じて交換する。
- ◆眼の保護具 ◎薬品飛散防止用ケミカルゴーグルを使用。

9. 物理的及び化学的性質

◆外観	◎灰白色から白色粉末
◆揮発性	◎なし
◆融点	◎データなし
◆嵩比重	◎0.9以上(20/20°C)
◆溶解度(水中)	◎一部溶解する
◆臭い	◎かすかな臭気
◆引火点	◎なし

10. 安定性及び反応性

◆引火点	◎なし
◆発火点	◎なし
◆爆発限界	◎知見なし
◆可燃性	◎高温になり、火源があるときは一部焦げることがある。
◆発火性	◎なし
◆酸化性	◎アルミニウム、亜鉛、錫は長時間水と同時に接触すると一部酸化される。
◆自己反応性、爆発性	◎なし
◆粉塵爆発性	◎なし
◆安定性、反応性	◎水に溶解時に一部発熱発泡することがある(原水成分による) 通常の貯蔵条件では安定。
◆その他	◎なし

11. 有害性情報

◆皮膚腐食性	◎直接、長時間接触すると肌荒れを生じる。
◆刺激性	◎目に入ると強い刺激性がある。
◆感作性	◎データなし
◆急性毒性	◎データなし
◆亜急性毒性	◎データなし
◆慢性毒性	◎データなし
◆がん原生	◎データなし
◆変異原生	◎データなし
◆生殖毒性	◎データなし
◆催奇形性	◎データなし
◆その他	◎データなし

12. 環境影響情報

- ◆水棲生物に対する毒性 ◎ヒメダカ TML (48 時間) 120mg/L
- ◆蓄積性 ◎データなし
- ◆生物分解性 ◎データなし
- ◆その他 ◎データなし

13. 廃棄上の注意

使用する当該地区ないしは廃棄しようとする地区の廃棄物処理法令に準じて廃棄すること。

- ◆埋め立て地に廃棄する場合 ◎非危険性液体廃棄物として固めた後廃棄する。
- ◆燃焼処理を行う場合 ◎燃焼排ガスの処理対策を講ずること。

14. 輸送上の注意

運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下がないよう荷崩れの防止を確実に行う。

- ◆包装容器を破損させないこと（飛塵防止）
- ◆吸湿性があるので、水にぬらさないこと

15. 適用法令

- ◆毒性及び劇物取締法 ◎該当しない
- ◆労働安全衛生法 ◎該当しない
- ◆労働安全衛生規則 ◎該当しない
- ◆海洋汚染防止法 ◎該当しない
- ◆水質汚濁防止法 ◎該当しない
- ◆航空法 ◎該当しない
- ◆危規則 ◎該当しない
- ◆消防法 ◎該当しない
- ◆化学物質管理促進 PRTR 法 ◎該当物質なし
- ◆GHS 分類区分 ◎該当物質なし

16. その他の情報

- ◆なし